

進路だより

令和3年9月10日(金)

第5号

高浜市立高浜中学校

進路担当 岩月 晃

今年度の公立高校入試における学科・コース等の改編が愛知県教育委員会から発表されました。高中から受検する人がいる学校にも、学科・コース等の改編があったので、紹介をしたいと思います。

まず一校目は、岡崎北高校です。岡崎北高校は元々、普通科が「普通コース」と「コスモサイエンスコース」の2つのコースに別れている学校でした。今回の改編によって、このコスモサイエンスコースが「理数科」という学科になり、普通科と理数科という、専門学科が併設された学校に変わります。

この改編によって、「理数科」については、愛知県全域から受検ができるようになります。これまでの、岡崎北高校普通科の受検をし、合格者が決まってから希望によってコースが決まるという形から、それぞれの学科に対しての出願・受検という形に変わりますので、合格者も別々に決まるようになります。普通科を希望する人にとっては、理数科ができたことで、普通科の定員が減るので、これまで以上に受かりにくくなることも予想されます。また、理数科は愛知県全体でも数の少ない学科（今年度の改編によって、県内で2校新設された）なので、理数科を希望する人が実際にどのくらい受検するかについては、今の段階では分かりません。

そして二校目は、幸田高校です。幸田高校も含め、これまで愛知県の公立高校で「全日制課程」と示されていた高校はすべて、「学年制」の学校でした。「学年制」とは、1, 2, 3年生と1年で区切られ、その年度ごとに必要な単位数を修得できないと、進級（3年生は卒業）することができない制度です。

それに対して、今回の改編によって幸田高校は「全日制課程、単位制」の高校に変わります。「単位制」の学校は、学年による区分がなく、卒業するまでの3年間の間に必要な単位数を修得できれば卒業できる制度です。そのため、1年生から2年生、2年生から3年生において、「単位数が足りないことで進級できない」という状況がなくなります。また、卒業に必要な履修科目の内容に自由度が増すので、将来の進路希望や興味・関心に応じた科目を選択して学ぶことができるようになります。

単位制になったことで、学年やクラスという枠組みそのものなくなる訳ではありません。また、全日制課程であることは変わりませんので、朝から夕方まで毎日通うこともこれまでと一緒です。そして、受検できる地区もこれまで通りですので、志願者の状況がこれまでと大きく変わるということはないと予想されます。

この2校について、愛知県教育委員会や高校のホームページにて、改編についての資料が掲載されていますので、受検を考えている人やより詳しく知りたい人は、確認をしてみてください。また、この先公表される情報をしっかりと確認し、この改編による影響もしっかりと考えた上で受検校を決定できるように準備をしておいてほしいと思います。